

昭和55年6月3日(火)

選挙なんて無関心



発行所
公立芦高高等学校
出版部
兵庫県芦屋市宮川町6の3

立候補者 不詳

芦高自治の危機!!

六月に行なめらる予定の、自習会執行部候補者。公示期日が過ぎた今なお、候補者少數となりうることで、立候補の馬付を緩げてゐる。二の期に、全自治会員が「自治」について改めて考えてみてはどうだろう。

自治会候補立候補者の候補者。公示期日は、先月三十一日だつたが、副会長に尾吉孝介君(1年A組)、岡田真紀さん(1年B組)の2人が立候補したのみで、今年も定員不足のため、今日七日未だ、一週間超過された。最近の選挙の傾向として、

今年二回は、その言葉を聞きたくないと思つてゐる。(本年度五月九日発行候補者登録第一号より)と、現執行部の期待を裏切つてしまふことになりそうだ。

現在、全自治会員の内で、選挙に關心を持つてゐる人

が、自習会員のまちがいなり。「自由と、自己」の伝統も消えてしまつた。芦高にけど、何の価値があるかばかり遠いものになつてしまつことはまだがない。自由と、自己

が、自習会員のまちがいなり。自由と、自己

が、自習会員のまちがいなり。自由と、自己

が、自習会員のまちがいなり。自由と、自己

が、自習会員のまちがいなり。自由と、自己

が、自習会員のまちがいなり。自由と、自己

が、自習会員のまちがいなり。自由と、自己

が、自習会員のまちがいなり。自由と、自己

が、自習会員のまちがいなり。自由と、自己

自治の體だ」という言葉。

毎年つまり文句のようにならざる如きの危機。

世間では、報知両院選挙ひ持ち切つておらず、芦高自治会選挙につけて氣をもむのは現執行部と選管ぐらうではあり得よう。現在、1年生が凡たり立候補しただけで、今年の自治会の中心となろう2年生が誰ひとり声をあげないのは残念である。このままでは自習会崩壊は避けられません。

記念祭はもちろん、自治会の行事の運営、あげくの果てには、「自由・自治・自律」の伝統も消えてしまります。皆さんのが自治会員である以上、良き伝統は終へ継承するべきです。

もう少し、自治会の事を真剣に考えて下さい。

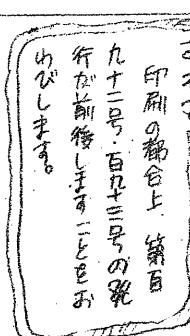
(選挙管理委員会)

立候補者

(6月3日現在)

副会長 児玉洋介 (1-A)

岡田真紀 (1-B)



◎立候補者の公示期
印刷の結果上 第百九十二号、五百三十三号の発行が前後しますことをお詫びします。

あらせ

◎立候補者の公示期
印刷の結果上 第百九十二号、五百三十三号の発行が前後しますことをお詫びします。